

## 第1回 外国人相談窓口担当者研修会

テーマ：相談員としての心構えとは？より良い対応のために0から改めて考えよう！

日時：5月28日（木）13：00～16：00

会場：アスト津3階 交流スペースA

講師：在名古屋ブラジル総領事館 ブラジル人民委員会 電話相談プログラム医師 中萩エルザさん

主催：三重県

実施：（公財）三重県国際交流財団

参加者：21人

### 研修会の内容：

- (1) 外国人相談窓口担当者の心構え
- (2) グループワーク

### 研修会の様子：

今年度初の外国人相談窓口担当者研修会でした。そのため、当日は、今年度から相談を担当している県や市、国際交流団体の職員、通訳者、教育支援ボランティアの方々が参加されました。初めて参加される方も多く、互いの取り組みを知る機会にもなりました。また、今回は、大阪府、愛知県、岐阜県からの方もいらっしゃり、合計21名の参加者となりました。

講師の中萩エルザさんには相談受け手の心構え、役割や体制、外国人住民へより伝わる相談対応方法、通訳者が注意すべき点、こころの二次受傷を防ぐためにどうしたらいいのか、相談者や相談員の思い通りの結果にならない場合、相談員への依存等について講義をしていただきました。具体的な相談事例を用いたケースワークも行いながら進めていき、相談員同士分かり合える点が多くあると感じました。

最後に MIEF の筒井企画総務課長が進行を務め、災害時に備えたネットワークづくりをテーマとしたグループワークを行いました。短い時間でしたが、グループ内の話も盛り上がり、「もっと話し合いたかった」などの意見をいただきました。災害時に外国人住民が自分たちに助けや情報を求めてくるであろうことを分かってもらうことができ、参加者同士が災害時に助け合える存在になってもらえたらと思いました。

### 参加者のアンケート結果の意見：

- 様々な事例からその対応がよくわかった。どんな支援があるのか、どんな活動を行っているのかがよくわかった。参加させてもらってありがとう。
- とても勉強になった。三重県の研修は、いつも興味深い。また参加させてほしい。
- とても参考になった。楽しくて、ためになったと思う。ありがとう。
- 自己メンタルの内容の講義が長かったので国籍ごとによくある相談事例を挙げ、それに対して具体的にどのように対応すればいいかが聞きたかった。次回は、そのような講義を希望する。また、講師の方がブラジル人だったので今度は日本人の講師の意見が聞きたい。グループワークのお題がわかりにくかった。相談事例を挙げて、それに対してどう対応すればいいか話し合うグループワークがよかったと思う。

# 写真

最初のあいさつ



エルザ先生の講義



グループワーキング



発表



防災のネットワークづくり

